

デジタル時代の「限界芸術」とその袋小路

——プラットフォーム資本主義と「できなさ」をめぐって——

日時：2026年1月9日（金） 17:00～19:00

会場：オンライン開催（zoom）

登壇者：酒井隆史 氏（立命館大学大学院 教授 他）

参加フォーム



企画趣旨

現代のデジタルプラットフォームは、かつて「限界芸術」的な自由な創作の場として機能していたインターネット空間を、アカウント停止などの「暴力」によって管理・統制するシステムへと変容させた。とりわけ物理的な共同体を失い、その代替としてインターネットに参入した地方の一般ユーザーは、創作の場を二重に奪われる「袋小路」に追い込まれている。そこで本研究会では、デヴィッド・グレーバーの思想を手がかりに、この閉塞状況を突破する可能性を探る。「賢人」が設計し「奴隷」を労働させるプラットフォーム支配のもとで、既存のルールと効率性の双方を拒否する「バカ」の立場は、いかにして抵抗の想像力へと転換しうるのか。リソースも共同体も持たない人々が「自由な社会」を創造するための実践的展望について、酒井隆史氏による応答を手掛かりに議論したい。

登壇者（敬称略）

話題提供：

中山統文（関西学院大学 社会学研究科 D2）

応答：

酒井隆史（立命館大学大学院 教授 他）

司会進行：

和藤仁（関西学院大学 社会学研究科 D1）

タイムスケジュール

17:00～17:05：オープニング（和藤）

17:05～17:30：話題提供（中山）

17:30～17:50：応答（酒井）

17:50～18:50：ディスカッション

18:50～19:00：クロージング（和藤）

共催：関西学院大学社会学研究科 大学院生サポートプログラム（GSSP事業）

連絡先：w.jin9949@gmail.com（和藤）